



「広島での体験」
赤平中学校2年
小室 まはる さん

私は、広島へ行き北海道では体験できない暑さ、原爆の恐ろしさなど多くのことを学んできました。

広島は、暑さは、まるで熱風を吸い込んでいくように感じた。気温は三十度は必ず超えて、私たちがいた時の天気は全て晴れでした。こまめに水分はとるようになっていたので、熱中症になっ

ていないかと思っていました。少し頭が痛くなったりしましたが、広島は、暑さは、まるで熱風を吸い込んでいくように感じた。気温は三十度は必ず超えて、私たちがいた時の天気は全て晴れでした。こまめに水分はとるようになっていたので、熱中症になっ

ていないかと思っていました。少し頭が痛くなったりしましたが、広島は、暑さは、まるで熱風を吸い込んでいくように感じた。気温は三十度は必ず超えて、私たちがいた時の天気は全て晴れでした。こまめに水分はとるようになっていたので、熱中症になっ

た。私は、学校の勉強でしか戦争というものについて学びませんでした。ですが、このドームを見たり、資料館を見たりして、戦争の恐ろしさを、愚かさを知りまし

た。私は、学校の勉強でしか戦争というものについて学びませんでした。ですが、このドームを見たり、資料館を見たりして、戦争の恐ろしさを、愚かさを知りまし

た。私は、学校の勉強でしか戦争というものについて学びませんでした。ですが、このドームを見たり、資料館を見たりして、戦争の恐ろしさを、愚かさを知りまし

た。私は、学校の勉強でしか戦争というものについて学びませんでした。ですが、このドームを見たり、資料館を見たりして、戦争の恐ろしさを、愚かさを知りまし

を知ったからだと思いました。今回は大変貴重な経験をすることができて、とても感謝しています。ありがとうございます。

語り継ごう平和の大切さ・・・

中学生からのメッセージ

～原水爆禁止世界大会 広島大会に参加して～

8月4日から6日まで「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに原水爆禁止2012年世界大会が開催され、赤平市から2名の中学生が参加しました。この体験を通して感じたことを感想文にまとめてもらいました。



原爆のおそろしさ
赤平中央中学校2年
藤井 拓也 さん

原爆。それはアメリカの「マンハッタン計画」で三年の月日と二十億ドルを費やして原爆が広島に投下される三週間前に完成した巨大な爆弾である。

その爆弾で爆心地から半径二キロメートル以内には人がほとんど亡くなり、建物も壊された。その亡くなった人の数、行方不明になった人数は市民の約半分に相当する十四万人前後になる。

私は北海道派遣団として広島に行き、平和記念資料館を通して様々な原爆の恐ろしさを知った。資料館には、一瞬で真っ黒

になった弁当、変形したガラスのびん、もはや原形をとどめないほど溶けて変形したかわらなど、被曝した物や、背中に大やけどを負い、皮が焼け、皮膚が再生しようとするも逆に再生し

佐々木貞子さんである。佐々木貞子さんは、体内被曝してしまい、白血病にかかってしまった。しかし、「鶴を折り続けたら病気がよくなる。」というのを聞き、ずっと折り続けたけど亡くなっ

平和公園にある様々な慰霊碑を見ていた。その中で一番気になった慰霊碑があった。それは、韓国人原爆犠牲者慰霊碑だ。どうして気になったかというところ、どうして日本なのに韓国人が被曝したのか疑問を持ったからだ。

今回、私は北海道派遣団として広島へ行き、たくさんの方を学んだ。それと同時に、核兵器原爆なんて捨て、平和な国を作りたいという気持ちがい層強くなった。今回学んだことは多くの人に伝えていきたいと思う。